

- 問1 現代の民主政治における「選挙の四原則」をまとめた説明において、すべての有権者が一人一票を持ち、その一票の価値がすべて等しいものとして扱われる原則を何といいますか。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 秘密選挙 | 2. 平等選挙 | 3. 普通選挙 | 4. 直接選挙 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問2 定数が6人の比例代表選挙において、ドント式を用いて議席を配分します。政党aが78万票、政党bが72万票、政党cが30万票、政党dが18万票を獲得した場合、各政党に配分される議席数の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 政党a：4議席、政党b：2議席、政党c：0議席、政党d：0議席 | 2. 政党a：3議席、政党b：2議席、政党c：1議席、政党d：0議席 | 3. 政党a：2議席、政党b：2議席、政党c：1議席、政党d：1議席 | 4. 政党a：3議席、政党b：3議席、政党c：0議席、政党d：0議席 |
|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
- 問3 特定の政党が単独で議会の過半数を確保できない場合、複数の政党が協力して内閣を組織することがあります。この状況を説明したものとして正しいものを選んでください。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 与党と野党の区別をなくし、すべての政党が内閣の閣僚を平等に選出する全会一致体制をとる。 | 2. 行政権の停滞を防ぐため、政党に所属しない専門家のみで内閣を構成し、全政党を野党とする。 | 3. 最も議席数の多い政党のみが与党となり、協力した他の政党は「影の内閣」として野党に留まる。 | 4. 複数の政党が合意に基づいて連立政権を形成し、それらすべての政党が与党となる。 |
|--|--|---|---|
- 問4 日本の衆議院や参議院の比例代表制において、各政党の得票数に応じて議席を配分するために採用されている計算方法は何ですか。各政党の得票数を1、2、3……という整数で順に割り、その値（商）の大きい順に議席を割り当てる仕組みを指します。 (2016年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|---------|------------|
| 1. 完全連記制 | 2. 小選挙区制 | 3. ドント式 | 4. 単純小選挙区制 |
|----------|----------|---------|------------|
- 問5 定数465の衆議院において、ある選挙でX党が214議席を獲得しましたが、単独では過半数に届きませんでした。そこでX党は、政策面で親和性が高く28議席を持つZ党と協力して政権を担当することにしました。このように、複数の政党が合意に基づいて内閣を構成する最大の目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|---|--|
| 1. 選挙管理委員会の指示により、議席数に応じた議席配分を強制されるため | 2. 内閣総理大臣を複数人選出することで、権力の集中を分散させるため | 3. 法案や予算案の可決に必要な過半数の議席を確保し、政権運営を安定させるため | 4. 全ての政党の意見を均等に政権に反映させ、野党が存在しない状態を作るため |
|--------------------------------------|------------------------------------|---|--|
- 問6 日本の衆議院議員選挙で行われている選挙制度について、有権者は2種類の投票を行います。一方は、投票用紙に候補者名を記入して一つの選挙区から一人の代表を選ぶ方式であり、もう一方は、投票用紙に政党名を記入して各政党の得票数に応じて議席を配分する方式です。この二つの仕組みを組み合わせた制度の名称として正しいものを選びなさい。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------------|-----------|---------------|
| 1. 大選挙区制 | 2. 小選挙区比例代表並立制 | 3. 中選挙区制度 | 4. 単記移譲式比例代表制 |
|----------|----------------|-----------|---------------|
- 問7 日本の衆議院議員選挙などで採用されている比例代表制について、小選挙区制と比較した場合の特徴として最も適切な説明を選んでください。 (2026年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 支持者の少ない小さな政党であっても議席を得やすく、死票が少なくなりやすい。 | 2. 各選挙区で最も得票の多かった者のみが当選するため、大政党に有利にはたらく。 | 3. 特定の有力な候補者個人に票が集中するため、政権交代が起こりやすくなる。 | 4. 得票数に関わらず、あらかじめ各政党に割り当てられる議席数が決まっている。 |
|--|--|--|---|
- 問8 日本の選挙制度において、投票日の当日に仕事や旅行、冠婚葬祭などの予定がある有権者が、投票日の前にあらかじめ指定された場所で投票を行うことができる制度を何といいますか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|------------|------------|-----------|
| 1. 不在者投票制度 | 2. 郵便等投票制度 | 3. 期日前投票制度 | 4. 在外選挙制度 |
|------------|------------|------------|-----------|
- 問9 小選挙区制における課題として、当選者以外の候補者に投じられた、議席の獲得に結びつかない票のことを何と呼びますか。また、その課題を解決するために日本の衆議院議員選挙で取り入れられている工夫について説明したものを選びなさい。 (2018年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--|---------------------------------------|---|
| 1. 「比例票」と呼び、政党の代表者が責任を持って議席を配分している。 | 2. 「死票」と呼び、多様な意見を反映させるために比例代表制を組み合わせている。 | 3. 「無効票」と呼び、投票率を上げるために期日前投票制度を導入している。 | 4. 「死票」と呼び、特定の政党が有利にならないよう一票の格差を是正している。 |
|-------------------------------------|--|---------------------------------------|---|
- 問10 日本の衆議院議員選挙や参議院議員選挙の比例代表制で採用されている「ドント式」による議席配分の方法として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 各政党の得票数を1、2、3……といった整数で順に割り、その商（割り算の答え）が大きい順に議席を割り当てる。 | 2. 全国を一つの選挙区とし、得票数の多い順に個人名で投票された候補者を直接当選させる。 | 3. 各選挙区で最も得票数の多かった候補者一人だけを当選とし、それ以外の候補者への投票を死票とする。 | 4. 各政党の得票率に定数を掛け、小数点以下を切り捨てた残りの議席を、端数の大きい政党から順に割り当てる。 |
|--|--|--|---|
- 問11 1946年に実施された衆議院議員総選挙では、日本で初めて女性の参政権が行使されました。このような改革が行われた歴史的な背景と、その後の日本国憲法における位置づけについて述べた文として、最もふさわしいものを選びなさい。 (2025年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 治安維持法の廃止によって全ての国民に思想の自由が認められたため、それを反映させるために納税額にかかわらず満25歳以上の男女に選挙権が与えられた。 | 2. 戦後の民主化改革を進めるGHQ（連合国軍最高司令官総司令部）の示唆により選挙法が改正され、日本国憲法においても「法の下での平等」に基づき男女の政治的平等が保障された。 | 3. 明治憲法下ですでに認められていた地方選挙における女性の参政権を、戦後の改革によって国政選挙にも適用することとし、主権在民の原則を確立した。 | 4. 大正デモクラシーの影響で女性参政権運動が高まった結果、GHQの指令を待たずに日本政府が自発的に満20歳以上の男女に選挙権を認めた。 |
|---|--|--|--|
- 問12 日本の衆議院における女性議員の割合の推移と、国際的な状況について述べた文として、最も適切なものはどれですか。1970年代から2010年代後半にかけての統計をもとに判断してください。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 近年の制度改革によって急激に増加したため、すでに世界平均やドイツなどの水準を追い抜いている。 | 2. 1990年代後半から長期的に見れば増加傾向にあるが、世界平均や諸外国と比較すると依然として低い水準にある。 | 3. 1990年代後半から一貫して減少傾向にあり、世界平均を大きく下回る結果となっている。 | 4. 1970年代から高い水準で横ばいの状態が続いており、世界的に見ても上位に位置している。 |
|---|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 平等選挙	民主政治における選挙には、重要な四つの原則があります。性別や財産にかかわらず一定の年齢に達した国民全員に選挙権を与えるのが「普通選挙」、投票の秘密を守るのが「秘密選挙」、有権者が候補者を直接選ぶのが「直接選挙」、そして、一人一票を持ちその重みを等しく扱うのが「平等選挙」です。
問2	答え 2 政党a：3議席、政党b：2議席、政党c：1議席、政党d：0議席	得票数を自然数で割ると、まず「1で割った値」はa（78万）、b（72万）、c（30万）、d（18万）となります。次に「2で割った値」はa（39万）、b（36万）、c（15万）、d（9万）、「3で割った値」はa（26万）、b（24万）となります。これらを大きい順に並べると、(1) aの78万、(2) bの72万、(3) aの39万、(4) bの36万、(5) cの30万、(6) aの26万となり、6議席分が確定します。その結果、政党aが3議席、政党bが2議席、政党cが1議席となり、政党dは0議席となります。
問3	答え 4 複数の政党が合意に基づいて連立政権を形成し、それらすべての政党が与党となる。	国会（特に衆議院）で単独の政党が過半数に達しない場合、政策の合意ができる複数の政党が協力して過半数を確保し、政権を運営することがあります。これを「連立政権」といい、その政権に参加している政党はすべて「与党」として扱われます。近年の日本でも、複数の政党による連立政権が一般的になっています。
問4	答え 3 ドント式	比例代表制において政党の得票を議席に換算する際、特定の政党に有利になりすぎず、かつ死票を減らして民意を反映させるためにこの方式がとられています。得票数を1、2、3と整数で割ることで、得票数に比例した公平な議席配分が可能になります。衆議院の比例代表選出議員選挙や、参議院の比例代表選出議員選挙のいずれにおいても、このドント式による計算が用いられています。
問5	答え 3 法案や予算案の可決に必要な過半数の議席を確保し、政権運営を安定させるため	衆議院の定数465に対し、過半数は233議席です。この事例では、X党の214議席にZ党の28議席を合わせることで242議席となり、過半数を超えることができます。内閣が提出した法案を成立させるには国会での多数決が必要なため、複数の政党が手を組んで議席を積み増すことで、安定的かつ円滑な政治運営を目指します。
問6	答え 2 小選挙区比例代表並立制	衆議院議員選挙では、候補者個人の名前を書いて投票する小選挙区制と、政党の名前を書いて投票する比例代表制が同時に行われています。小選挙区制は289議席、比例代表制は176議席で構成されており、これら二つの仕組みを並行して運用するため「並立制」と呼ばれます。投票の際は、候補者名を書く用紙と政党名を書く用紙の2枚を受け取ることになります。
問7	答え 1 支持者の少ない小さな政党であっても議席を得やすく、死票が少なくなりやすい。	比例代表制は、各政党の得票数に応じて議席を配分する仕組みです。1つの選挙区から1名のみが選ばれる小選挙区制では、落選者に投じられた票が「死票」となりますが、比例代表制では得票が政党の議席に結びつきやすいため、死票を抑えることができます。このため、全国的に一定の支持があるものの、特定の地域で1位になるのが難しい「支持者の少ない小さな政党」でも議席を獲得できる可能性が高まります。これにより、多様な国民の意見を議会に反映させやすいというメリットがあります。
問8	答え 3 期日前投票制度	投票日当日に用事がある有権者の利便性を高め、棄権を防ぐために導入された制度です。従来の不在者投票よりも手続きが簡略化されており、投票所に備え付けられた宣誓書に記入することで、当日と同じように直接投票箱に票を入れることができます。
問9	答え 2 「死票」と呼び、多様な意見を反映させるために比例代表制を組み合わせている。	小選挙区制では最も得票の多い1人だけが当選するため、それ以外の候補者に投じられた票はすべて「死票」となります。これによる「国民の意見が切り捨てられる」という問題を補うため、日本の衆議院議員選挙では小選挙区制と比例代表制を組み合わせた「小選挙区比例代表並立制」が採用されています。比例代表制を併用することで、小政党の意見も議席に反映されやすくなります。
問10	答え 1 各政党の得票数を1、2、3…といった整数で順に割り、その商（割り算の答え）が大きい順に議席を割り当てる。	比例代表制は、各政党の得票数に応じて議席を配分することで、少数派の意見を議会に反映させやすい仕組みです。ドント式は、ベルギーの法学者ドントが考案した計算方法で、各政党の得票数を整数で割っていき、その結果得られた数値が大きい順に定数まで議席を割り振ることで、得票に基づいた公平な配分を目指しています。
問11	答え 2 戦後の民主化改革を進めるGHQ（連合国軍最高司令官総司令部）の示唆により選挙法が改正され、日本国憲法においても「法の下での平等」に基づき男女の政治的平等が保障された。	第二次世界大戦後の日本の民主化を目指したGHQは、女性の解放（参政権の付与）を重要な改革項目の一つとして日本政府に求めました。これにより1945年に選挙法が改正され、満20歳以上の男女による普通選挙が実現しました。この仕組みは、その後に制定された日本国憲法における「法の下での平等」や、主権者としての国民の権利を具体化するものとして、日本の民主主義の根幹となりました。
問12	答え 2 1990年代後半から長期的に見れば増加傾向にあるが、世界平均や諸外国と比較すると依然として低い水準にある。	日本の衆議院における女性議員の割合は、1990年代後半から上昇し始めたものの、その数値は10%前後にとどまっています。世界平均が20%を超え、メキシコ（約42.6%）やドイツ（約30.7%）といった諸外国が高い割合を示していることと比較すると、日本の女性の政治参画は国際的に見て遅れているといえます。